

データで見る兵教生

～平成29年度実績から検証～

キャリアデザイン講座受講者数

教員を志した
原点に戻り
モチベーションが
上がりました

キャリアセンターの先生に勧められて参加した講座で、キラキラした目で教員という仕事を魅力的に語ってくださる元気がいっぱいの中島先生の姿を見て、自分自身が教員になりたいと思った原点を思い出しました。それは子どもと本気で遊んだり、笑ったり、悩んだり、子どもと真っすぐに向き合う教員になることです。再認識した教員への憧れや情熱は、教員採用試験へのモチベーションにもなりました！



いしのゆりえ
石野百合絵さん

学校教育学部
学校教育系コース4年
「子どもの心をつかむ！
学校で使える学級ゲームを
体験しよう」を受講

教員採用試験に向けて自己PRを考えたものの、短所ばかりが目が行って「これだ」という案が浮かばない。そんな時に開催されたこの講座を受講したところ、短所が長所になるという発想の転換を学び、自分に自信を持つことができました。また、楽しい活動の中に自分を売り込むスキル習得のための要素が意図的に組み込まれているので、スムーズに、印象強く自分を売り込むことができるようになり、感謝しています。

自信を持って自己PRが
できるようになりました



ともひろひとし
友弘一志さん

専門職学位課程
小学校教員養成特別コース2年
「自分を売り込む自己PR
～本当の自分を
知っていますか～」を受講

多様な講師陣による バラエティー豊かな講座を展開

教職キャリア開発センターでは、学生の豊かな人間性の育成や社会人としての基礎力養成を目指して、キャリアデザイン講座を実施している。平成29(2017)年度は計8回の講座に延べ165人が参加した。

これらの講座は学内外の講師を招いて開催され、教壇に立つ前の準備講座や就活スタート講座、近年学校現場で取り入れられているICT機器に関する情報関係講座などバラエティー豊かな内容を用意。実際に体を動かすグループディスカッションをするなど、アクティブラーニング形式の講座が多いのも特徴だ。参加者からは予想以上の成果が得られたと評判も高く、今後も多くの学生に積極的に参加してもらいたい。

HYOKYO'S DATA

保護者との連携協力は、子どもを指導する上で不可欠であり、教員にとっては大きな課題でもあります。学生は当然ながら現場での経験が少なく、保護者対応や生徒指導に不安を持っています。そこで、この講座では保護者対応をする上での問題点について、具体的な事例を交えながら対応の在り方を解説するとともに、グループごとのロールプレイング等の演習を通して実践力を培います。参加学生からは、真剣に取り組む姿勢が強く感じられました。



学生たちの
不安解消へ
実践的内容を
心掛けています

はしもとみお
橋本富雄さん

教職キャリア開発センター
キャリア開発指導員
「実例から学ぶ保護者対応
～保護者との関係づくり～」講師



平成29年度キャリアデザイン講座

講座名	受講者数	講師
教壇に立つ前の準備講座		
子どもの心をつかむ！学校で使える学級ゲームを体験しよう	23人	教育サポーター 中島正教
実例から学ぶ保護者対応～保護者との関係づくり～	25人	キャリア開発指導員 橋本富雄 生徒指導実践開発コース教授 松本剛
部活、学校現場の体罰を考える	21人	スポーツジャーナリスト 永井洋一
就活スタート講座		
第一印象で差がつく好感度アップ講座	22人	はるやま商事(株) 資生堂ジャパン
自分を売り込む自己PR ～本当の自分を知っていますか～	36人	(株)V3 代表取締役 中川コイチ
「最近の若者は…」と言われないためのマナー講座 電話応対、メール・手紙の書き方 編	15人	トータルマナー研究所 所長 河本栄味子
情報関係講座		
最新機器を体験！学校現場で導入されているICT機器	14人	チエル(株) マーケティング部長 村上有弘
メンタルヘルス講座		
仕事とメンタルヘルス ～うつ病や過労自殺に追い込まれる前に～	9人	近畿中央病院メンタルヘルスケア・センター 副センター長 井上麻紀